

平成22年9月21日『第1回県政ランチミーティング』における主な発言要旨及び県の考え方について

参加団体・参加者	発 言 要 旨		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
	参加者の発言	知 事 の 発 言		
川中島白桃による元気な地域づくりを進める会  宮崎 愛子様 他9名 (長野市)	1 「農業・農家への支援」について  農家の支援には2つの方法があり、1つは労働提供による支援と、もう1つは生産受託による支援であるが、労働提供による支援は労賃の支払いがあり農家が赤字になってしまうので、地代をきちんと支払って生産受託をする方法が現実的と思い実践している。	これからの行政は地域のいろいろな活動とか資源をコーディネートしていくのが役割と思っている。 行政と住民は対岸になることが多いので、職員にはいろんな垣根をなくして、住民と一緒にやって取り組んでいくような組織にしていきたいと思っている。また、皆さんからもそのような方向で協力をもらえるとありがたい。	・中山間集落営農づくり支援事業、集落等を単位とした組織による営農体制を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	農政部 農村振興課
	農業の後継者がいないのは高齢化の問題もあるが、一番の問題点は、若い人が参入してきても生業として成り立たないことである。	農業は、これから未来に向けて希望が持てるようにしていかなければならないと思うし、後継者が足りないから無理矢理後継者を育成しようというよりは、競って農業をやりたいという若者が増えるような環境作りをしなければならないと思っている。	・新規就農者支援事業、農業リーダー育成事業を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	
	若い人が農業に向かないのは、なぜ農業が大事かということを本当に納得していないからで、本当の必要性がわかれば取り組むようになってくれるはずで、そのためのシステム作りや社会的構図の変化は必要と思う。	食糧問題や環境問題などを考えていく上で、生産者と消費者が一緒になってこれからの農業を考えていく場が必要と思っている。 農業は価格の安定とが自然との戦いで、他の産業とは同一視できない部分もあるので、本来は行政が対応しなければいけない部分もあると思っている。	・新規就農者支援事業の農業の魅力発見・体験研修事業、里親研修事業、大学生就農ガイダンス(ゼロ予算)などの実施や、農業経営士や女性農業グループが行う農業体験の受入活動の支援を行い、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	
	私たちは、農業の後継者が現れるまでの引き継ぎの役のつもりでやっており、私たちのような仲間が増えることになれば農家の力になれると思ったが、わずかな力にしかなくていい、やはり行政の力が必要であり、例えば、定年退職者の力を借りる仕組みを行政で作ってほしい。		・樹園地継承モデル確立事業、強い園芸産地育成事業、H23から、果樹園を高齢農家から担い手に円滑に継承する仕組みづくりや活動支援を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	農政部 園芸畜産課
	農業の高齢化は非常に勢いで進んでいるため、20年も30年も待てられないので、早急に援助をしながら、いろんな作物の支援体制を作り、さらに加工・販売対策も必要である。		・引き続き、農業改良普及センターにおける技術支援や農業農村ビジネス支援事業による加工・販売への支援により、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	農政部 農産物マーケティング室
	米のように大きく農地をまとめることで経営として成り立つ農業は、一つの方向としては大事だが、果樹農家は家族労働が中心なので、その方向も守ってもらう施策が必要である。		・果樹経営支援対策事業。個々の果樹農家を改植などで直接支援する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	農政部 園芸畜産課
	加工製品を作るにしても、原料の生産現場がなくてはできない。		・強い園芸産地育成事業。競争力の高い園芸産地の育成を目指す中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	
2 「加工・販売・マーケティング等」について  川中島白桃という1つの商品を地域の誇れるものにするために、有志が集まって何かしていくと取り組み始めたというのが現状であり、そのことに対して、県から支援をもらえれば、さらに全国、アジアに向けて川中島白桃のブランドを発信できるのではないかと考えており、そのようなことになれば、地域の子どもたちも川中島白桃に対する愛着を持つことができ、一緒にモモを守ってくれるのではないかと考えている。	川中島についているので地域も一緒に売り出せるし、それによって地域の人にも元気になれると思う。 是非、皆さんと一緒に売ることややりたいと思っている。 生産、加工、販売を1人でやることは無理で、いろいろな人の知恵を集めて取り組むことが重要であり、そこに行政も一緒に参加する成功事例をどんどん作っていかないと、いろいろな可能性が見えてくるのではないかと思う。今日を機会にもう少し皆さんと一緒に職員も議論させてもらうような環境を作りたい。 長野県は農村体験の受け入れをしているが、他県の子を多く受け入れて、自分の県は少ないと思っている。その点はしっかりと考えていきたい。	・海外への輸出について、長野県国際戦略(仮称)を策定することとしており、この中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	農政部 農産物マーケティング室	
川中島白桃は非常にロスが多く、少しでも柔らかくなると市場には出せないため、実際には4割くらいが捨てることになるので、これを加工して商品にするということは農家の所得もプラスになるという要素がある。		・農業農村ビジネス推進事業(アグリビジネス講座)や(アグリビジネス加工技術研修)等を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。		

平成22年9月21日『第1回県政ランチミーティング』における主な発言要旨及び県の考え方について

参加団体・参加者	発 言 要 旨		参加者の発言に対する県の考え方	
	参加者の発言	知 事 の 発 言		所管課
	ロスの活用の仕方は重要なので県も一緒に取り組んでもらい、地産地消ということで、この川中島白桃を1つのモデルとして県のブランドにし、成功事例としてもらい、その取り組みは県内各地に広げてほしい。		・地域資源製品開発支援センター事業では、中小企業者が行う県内の地域資源を活用した製品開発を企画の段階から商品化まで一貫して支援しております。素材の良さを活かした商品企画や、売れる商品とするためのブランド戦略などの支援実績があり、本事業を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるように努めます。	商工労働部 ものづくり振興課
	また、農業は農産物だけ売っても儲からないので、収益を上げるには加工も必要であるので、付加価値を行政と一緒に考えていくことが大事である。		・農業農村ビジネス推進事業(アグリビジネス講座)や(アグリビジネス加工技術研修)等を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	農政部 農産物マーケティング室
	全く農業をしたことのない、例えば、不登校の子どもが育っていく過程で、農作業者のサポートを受けながら農業に触れることは、生物の育つ様子を見ることによる良い影響などを与えたいと思う。		2 - と同様です。	商工労働部 ものづくり振興課
			2 - と同様です。	農政部 農産物マーケティング室
		・子ども農業体験活動支援事業や子どもたちへの農業体験の場の提供を通じて、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	農政部 農業政策課	